

平成23年度 当初予算の概要

予算総額 675億1,719万円 前年度比 0.1%減

一般会計 381億8,000万円 前年度比 2.4%増

特別会計 272億6,511万円 前年度比 2.4%減

特別会計の内訳	特別会計名	当初予算額
	国民健康保険	126億5,794万円
	介護保険	93億4,820万円
	簡易水道事業	1億4,151万円
	公共下水道事業	32億4,690万円
	小規模下水道事業	7,646万円
	港湾上屋事業	559万円
	ひうち地域振興整備事業	1億6,584万円
	土地開発事業	320万円
	小松地域交流事業	2億3,867万円
	本谷温泉事業	2,797万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,076万円
	畑地かん水事業	2,712万円
	庄内財産区	516万円
	壬生川財産区	331万円
	後期高齢者医療保険	13億648万円
	老人保健	皆減

企業会計 20億7,208万円 前年度比12.9%減

企業会計の内訳	企業会計名	当初予算額
	水道事業会計	13億2,664万円
	病院事業会計	7億4,544万円

最近の我が国の経済は、デフレや円高の影響に伴い、景気の下振れ懸念が残る中、雇用情勢においても完全失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、市税については、前年度の当初予算額と比較すると、個人市民税は減収となるものの、法人市民税や固定資産税などが増収となり、市税収入全体では増加する見込みとなっております。

しかしながら歳出面では、扶助費や投資的経費が増額となるなど、財政環境は、依然として厳しい状況にあります。

このような厳しい環境の中ではありますが、財源の確保に努めるとともに、重要な緊急度の高い施策を厳選し、重点的・効率的な財源配分に一層努め「人がつどいまちが輝く 快適環境実感都市」の実現に取り組んでいく必要があります。

新年度の予算編成にあたっては、休日夜間急患センター整備事業に要する経費をはじめ、子育て支援、環境保全対策、雇用対策、教育の振興など、緊急かつ懸案の重要施策に積極的に取り組む予算編成を行っています。

一般会計の主な事業

▼保健・医療の充実

- 休日夜間急患センター整備事業 6,063万円
- 女性特有のがん検診推進事業 1,186万円

▼子育て支援

- 放課後児童健全育成事業 1億2,629万円
- 放課後子ども教室推進事業 412万円



▼環境保全対策

- (仮称) 東部一般廃棄物最終処分場整備事業 11億1,060万円



- 住宅用太陽光発電システム導入促進事業 3,200万円
- 浄化槽設置整備事業 1億3,509万円

▼新規産業の創造と産業の振興

- 企業立地促進奨励金 1億3,980万円
- 地域産業活性化推進事業 999万円

▼健康づくり・体育の振興

- 石鎚山系元気ウォーキング大会開催事業 505万円
- 次世代育成支援スポーツ事業 1,010万円



▼福祉の充実

- 障害児支援員配置事業 1億7,484万円
- 福祉基金事業 9,308万円